

わが家の避難地図を作しましょう

災害状況や避難場所までの経路はお住まいの地域によって異なります

災害ハザードマップを使って、自宅から避難場所までの避難経路を記入して避難地図を作ってみましょう。

避難経路を考える上での注意事項

- ① 自宅の位置を確認しましょう。
- ② 自宅付近の浸水の深さを確認しましょう。
()m ~ ()m の浸水区域
例：(0.5)m ~ (1.0)m の浸水区域
- ③ 避難場所を確認して、自宅との位置関係を調べましょう。
 - 地盤が低く水が集まりやすい場所や、かけ崩れなどの土砂災害が発生する可能性のある区域は、できる限り通らないようにしましょう。
 - 避難時危険箇所も避けるようにしましょう。
- ④ 実際に避難することを考えて、「わが家の避難地図」欄に自宅から避難場所までの経路を書き込んでみましょう。
- ⑤ 家族全員で確認しましょう。
 - 避難地図に記入した経路を実際に歩いて、周辺の状況や所要時間を確認しましょう。
 - 実際の災害時は、普段と状況も異なり、避難に時間がかかることを前提に行動しましょう。

■わが家の避難地図